

学校保健

平成22年1月

No. 280

JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
<http://www.hokenkai.or.jp/>



(財)日本学校保健会

年頭所感

学校保健の発展に向けて

～心と体の成長を願い～

財団法人日本学校保健会
会長 唐澤 祥人



あけましておめでとうございます。

希望に満ちたこの新しい年を迎え、皆様もお健やかに新しい年をお迎えになられたと思います。

さて、現代の社会において、学校での健康教育や健康相談活動によるメンタルヘルスケアの推進と充実は、子どもたちが将来にわたって心身ともに健康に生きていく力を育むための基礎となるものであります。また、昨年から流行している新型インフルエンザのほか、麻疹混合ワクチン接種率向上などの感染症への対応、ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患のある児童生徒への対応など健康管理の重要性は増すばかりです。

本会は、一人でも多くの子どもの健やかな成長を願い、さまざまな活動を通じ、学校保健の普及・啓発、健康教育の充実に取り組んでまいります。本年も皆様のご活躍を期待いたしますとともに、本会へのご支援とご協力をお願いいたします。

主な紙面

新春座談会
テーマ「学校保健委員会をどう活性化するか」
シリーズ②「健康教育をささえる」
学校保健の現場から……… 8～9

第59回全国学校保健研究大会
学校における糖尿病の生活指導……… 12
子宮頸がんとHPVワクチン……… 別刷
ワクチンと検診で子宮頸がんを予防しましょう！……… 別刷

平成21年度 健康教育推進学校表彰式 及び事業報告会

「参加者募集」

主催：(財)日本学校保健会

日時 平成22年 2月18日(木)
① 健康教育推進学校表彰式 10:00～ ② 事業報告会 13:00～
会場 (社)日本医師会館 大講堂・小講堂(3F) 東京都文京区本駒込2-28-16

参加申込みについて(事前申込者のみ参加受付)

- 受付開始日 平成22年1月12日(火)より
- 参加予定者 表彰受賞関係者・教育関係者・研究者・学生・一般
- 参加費 無料
- 申込み方法
 - 所定の申込書による(本会HP・PS「学校保健」よりダウンロード→FAX)
 - 募集人員 (先着順)
 - 午前 表彰式及び実践発表 *受彰校以外も参加可 400名 大講堂
 - 午後 事業報告会 ① シンポジウム 400名 大講堂
 - ② 委員会報告 60名 小講堂
- 問い合わせ先 (財)日本学校保健会 TEL 03-3501-0968 FAX 03-3592-3898

日程

	10:00 (大講堂)	12:00	13:00 (大講堂)	13:30	16:30
受付	健康教育推進学校表彰式及び実践発表会(6校)(400名)	昼食	日本学校保健会事業報告会全体会	分科会 ①シンポジウム(400名) 「メディアリテラシーと子どもの健康調査研究」委員会 ②委員会報告(60名) 「食と咀嚼くに対する実態等調査」委員会	大講堂 3F 小講堂

乞御回覧

校長	教頭	保健主事	養護教諭	学校栄養職員	PTA	会長	副会長	
----	----	------	------	--------	-----	----	-----	--



—— 学校保健と連携 ——

「学校保健委員会をどう活性化するか」



出席者（順不同・敬称略）

全国学校保健主事会 副会長 奈良県奈良市立辰市小学校校長	三谷 博之
全国養護教諭連絡協議会 副会長 千葉県市原市立ちほら台南中学校養護教諭	米元まり子
社団法人日本学校歯科医会 常務理事	赤井 淳二
日本学校薬剤師会 会長	田中 俊昭
高崎市立大類小学校PTA 元副会長	山口 貴子
財団法人日本学校保健会 専務理事	雪下 國雄
〈コーディネーター〉 茨城大学教育学部 教授	瀧澤 利行

瀧澤 平成20年に学校保健法が安全管理に関する条項が付け加えられた学校保健安全法へと改正され、学校のみならず、家庭、地域、そしてさまざまな機関が連携していくことが課題とされています。そんな中で、学校保健委員会はいち早く、PTA、地域の方々や保健医療機関が連携して子どもたちの健康や発達を考える場として機能してきました。

ところが、小・中・高等学校の学校保健委員会の設置状況調査によると、地域によってばらばらで、100%というところもあれば伸び悩んでいるところもあります。

今年度の「学校保健」では特集として、「学校保健と連携」というテーマで、さまざまな機関や人々との連携について取り上げています。この座談会はその一環として、その中心的役割を担う学校保健委員会に焦点をあて、新春にふさわしい今後の展望を拓くような内容にしたいと思います。

学校保健委員会の現状

瀧澤 最初に、学校医という立場で学校保健委員会に長く携わってこられた雪下先生に、現状をお話いただきたいと思います。

雪下 学校保健法が学校保健安全法と改正されて、大きな変化は二つありました。一つは、国、地方公共団体、学校の設置者にあらためて学校保健の責務を課したということ。もう一つは、子どもの心身の健康を促すためには、学校・家庭・地域が連携を密に協力して取り組むことが必要であることを再認識したことです。この改正によって学校保健委員会の必要性がより大きくなったことは画期的なことだと思います。

学校保健委員会は、昭和33年に学校保健法等の

施行に伴う文部省体育局(当時)の通知において学校保健計画に規定すべき事項として位置づけられました。その内容は「学校保健計画は、学保法、同法令、同施則に規定された健康診断、健康相談あるいは学校環境衛生などに関する事の具体的な実施計画を内容とするはもとより、同法の運営をより効果的にさせるための諸活動、例えば学校保健委員会の開催およびその活動の計画なども含むものであって、年間計画および月間計画を立ててこれを実施するべきものであること。学校保健計画を立て、および実施するにあたっては、学校保健委員会の意見を聞き、また学校における保健管理と保健教育との関係の調整を図り、一層効



雪下國雄 氏

果のあがるよう努めることが必要であること」となっています。その後昭和47年の保健体育審議会答申では、「学校保健委員会は、学校や地域の実情に応じて、校長、保健主事、養護教諭、体育主任、安全主任、学校給食主任、保健教育担当教員

その他の一般教員および学校医、学校歯科医、学校薬剤師などの学校側の代表並びに家庭、保健所、その他地域の保健関係機関などの代表をもって組織するとともに、年間を通じて計画的に開催し、学校内の協力体制はもとより、家庭や地域社会との協力関係を確立して地域保健との密接な連携を図ることが必要である」と提言されています。

私が校医をしていた昭和40年代には、「学校保健委員会って何ですか？」と言うような校長先生もおられたくらいでしたが、今では設置状況はともかく、作らなければいけないと皆が認識している状態になりました。私は新しい学校保健安全法の掲げる趣旨を全うする最適の場が、学校、地域、家庭が一堂に会して討議できる学校保健委員会だと考えております。

平成20年度の文部科学省調べの「学校保健委員会設置率」では、小学校86.3%、中学校84.2%、高等学校83.9%と、かなり高率になっています。しかし名前だけで実施していない学校もあるということはすでに指摘されているところです。私が行った現場でのアンケート調査でも、学校保健委員会を行っているかと問うと、「行っている」と答えるのです。しかし事情を詳しく聞いてみますと、職員と児童生徒、児童生徒だけ、職員とPTAだけ等と学内だけの委員会はよく行っているようですが、学校医や地域が参加しての委員会となるとぐっと少なくなるのです。これはちょっと古い資料なのですが、2001年全国調べ(日本医師会)の結果、学校医が参加しての学校保健委員会の設置率は、小学校58%、中学校57%、高等学校36%となっています。実際は本当の趣旨を踏まえた学校・地域・家庭の三者が参加した委員会は完全に行われていなかったということです。今日は本会が毎年行っている健康教育推進表彰で最優秀校となった小学校の保護者の方がいらしていますが、現在はきちんと行われているところが増えているようで、ここからの発展に期待しているところです。

瀧澤 三谷先生は学校保健主事の副会長を勤められ、学校長という立場でもあります。実際に学校現場で学校保健委員会を見てこられて、どんな感想をお持ちですか。

三谷 私の学校では、年3回学校保健委員会を開催しています。学校三師の先生方は、内科、耳鼻科、歯科、眼科の医師と学校薬剤師が出席されています。また、PTA組織からは会長はじめ役員、各学年保健体育委員、学校からは保健主事、養護教諭はもとより保健、安全、給食、体育、生徒指導を担当する教員が構成メンバーです。

私は、学校保健委員会は、学校が直面している子どもたちの健康問題について協議し生涯を見通した健康づくりのために望ましい判断力と実践力を育成する大切な機会だと思います。学校医、学校薬剤師の医学的・保健衛生上の指導・助言を基盤に、学校と保護者が子どもの健康問題の解決に向けて話し合うことにより教職員・保護者の健康観・教育観がさらに高まります。そして互いに連携して活動することにより、子どもたちの健康に関する問題解決の能力、言い換えれば自己管理能力を育成することができると思っています。

学校保健委員会が効果的に進むには、学校保健年間計画が学校三師や教職員に共通理解され、保健活動が適切に行われていることが前提だと思います。そうでなければ上滑りの学校保健委員会になる恐れがあります。

瀧澤 養護教諭という専門的な立場から、米元先生にお話を伺いたと思います。先生は養護教諭であるとともに保健主事でもあるわけですが、中心となって学校保健委員会を運営するに当たって、資料の準備や当日の緊張など、さまざまな苦労があると思います。

米元 私は4月に転勤したばかりですので、前任校での実践をお話いたします。学校保健委員会にお招きする三師の先生方の休診日がばらばらなので、できるだけ多くの方が集まれる時間帯となると、やはり仕事を終えた夕方に設定せざるを得ません。1時間程度で、できるだけ短く、内容を濃く行うようにしています。開催の頻度は年度によってまちまちで年1回になることもあります。子どもの健康診断の結果から課題を抽出することが



米元まり子 氏

多いですね。さらに、学校保健委員会の課題を生徒の保健委員会へも問題提起します。例えば、中学生になると歯周疾患が増える傾向がありますが、学校保健委員会で問題提起をして生徒の保健委員会で話し合い、昼休みの全校歯磨きを実施するようになりました。生徒の意識の変化がみられ、それなりの成果はあるかと思えます。

瀧澤 赤井先生には学校歯科医として、また田中先生には学校薬剤師としてのお話を伺いたいと思います。



赤井淳二氏

赤井 学校保健活動の中で学校と家庭がどう役割分担するかということは非常に重要な問題です。もちろんお互いが共有する部分はありますが、例えば規則正しい生活習慣として朝食を欠かさずとり食後に歯みがきをするということを、学校では

知識として学習し、家庭ではそれを実践するといった連携が必要です。これらの共通認識を持つ場、あるいは役割分担を確認する場として学校保健委員会は有効です。

田中 薬剤師は医師と違って直接子どもと接する時間が少なく、定期的に行っている環境衛生検査の結果報告をする場も限られています。学校保健委員会はそうした機会を得る唯一の場です。問題点を解決して、ますます活性化してほしいものと思います。

問題点として大きいのは、保健委員会を企画する先生方の日常の業務が忙しく、準備に時間が取れないということではないでしょうか。仕事を軽減する努力も必要ではないかと思えます。担当教諭に負担がかかり過ぎないように、三師にテーマを振っていただき、個々に学校保健委員会を動かすのも一つの手段かと思えます。

また開催には学校長の意識が大きく影響します。学校長が変わったら年3回開催されていた学校保健委員会が1回になってしまった、内容も薄くなってしまったということをよく聞きます。

さらに、我々の環境検査時の報告は現場の教諭にも子どもたちにもさせていただき学校へ報告しますが、実はこれは国までの報告義務がないのです。そうした法的な問題が、学校保健に関する意識を低下させている一因かとも思えます。

瀧澤 山口さんは、学校保健委員会の実施校でも

特に優秀な大類小学校からきていただきました。実例を紹介してください。

山口 大類小学校は、児童数289名、13学級、教職員数は30名の中規模校です。健康教育については、学校長をリーダーに、健康教育全体計画に基づき、さまざまな立場の先生方が知恵を寄せあって企画し、子どもたちが中心となって進めています。



山口貴子氏

健康教育という一つの目標に進みながらも、子どもたちが自主的に学びに取り組み、思考力や判断力、表現力を高められる場となっていると思います。

健康教育の核となっているのが学校保健委員会です。委員会の開催は年5回。1回は拡大大学校保健委員会として、6年生が全員参加することになっています。また1回は大類中校区地域学校保健委員会として、地域の小学校4校、中学校1校の参加による会となっています。内容は基本的に、保健委員を中心として子どもたちがテーマに沿って行った実験や考察を発表する形で、その後専門の先生方による講評や講話をいただきます。必要があれば実技指導、スキル学習も行います。

平成20年度の例を挙げますと、年度の大テーマとして「かけがえのない命を大切にしよう」を掲げ、第1回「だ液は口の中のガードマン」「組織づくり」、第2回「けがの予防とけがの手当てを学ぼう」、第3回「コミュニケーション力を高めよう」(大類中校区地域学校保健委員会)、第4回「よりよい自分をめざそう」(拡大大学校保健委員会)、第5回「いのちのバトンをつなげよう」「今年度の反省と来年度の課題」と5回にわたって勉強を重ねました。21年度は大テーマとして「たくましい心とからだ」を掲げ、これまで運動や消費カロリーについてや、インフルエンザの予防について勉強し、今後は心の問題も取り上げます。学校保健委員会を有効に展開するためには、事前活動、本時、事後活動、評価の4段階に分けてそれぞれの活動を確実に行っていかなければいけません。

事前活動では、学校側では健康教育部会を開いて運営案の作成、学校医との相談、児童への指導などを行います。その間、学級では事前協議を行い、理科や授業の中でテーマに沿った内容の学習を行います。児童保健委員は、調べ学習、実験、アンケート調査、聞き取り調査を行った上で資料

やパワーポイントの作成に励みます。本時とは、実際の学校保健委員会のことで、子どもたちの発表を行い、その場でスキル学習ができればみんなで取り組み、学校医の先生方の助言指導をいただきます。事後は職員用伝達資料を配布、児童は児童集会で復習をし、PTAは学校保健委員会日より「げんきまる」を発行します。学級でも引き続き

内容を噛み砕いた指導をし、啓発ポスターなどの掲示も行います。評価としてはアンケート調査を行い、反省会と次年度の課題抽出を行います。

こうしてご紹介すると大掛かりなようですが、学校としては伝統的に取り組んでいるので無理はないと思います。

地道な工夫で活性化を

瀧澤 実際の学校保健委員会の開催には企画や開催日など、コーディネートに苦労されているようですが、どのように工夫されていますか。

米元 テーマについては、検診の結果を元にしたリ、三師の先生方に案内文書をお出ししたときに、返信のFAXでご提案をいただくようにしています。時事的なことも多いですね。今ならインフルエンザ、少し前には特別支援教育も取り上げました。時にはカウンセラーにも参加してもらい、心の健康について話し合うこともあります。保護者から問題を吸い上げるのが難しいですね。

開催日については、先ほど申し上げましたが、先生方にお集まりいただくのが大変なので、年3回のときは、年間の行事予定の中に入れてもらいました。年度初めに開催日が決まってしまうと予定も立てやすいし、準備目標も明確になります。

雪下 学校保健委員会の開催に関してなのですが、メンバーが全員そろわなければ開けないというのではなく、メンバー全員が集まらなくても、その時々合ったいろいろな形があってもいいのではないのでしょうか。柔軟性を持つことが長続きの秘訣だと思います。

米元 学校保健委員会の準備は正直に言うと結構大変なのですが、全員が集まろうとするから大変なのかもしれませんね。そのとき集まれる者だけで気楽に行うという学校保健委員会の形があってもいいのかもしれません。

瀧澤 やはり内容に関しては三師の先生方の役割は重要ですね。

田中 私は環境検査の結果を、検査を行った教室で発表し、気をつけることなどを子どもたちに話して健康教育を行うのですが、学校保健委員会はそうした機会として最適です。学習のときの姿勢と教室の照度の関係など、普段先生方が話していることと重なることもあるのですが、教諭の話と我々三師の話では子どもたちの受け止め方が違い

ますので、同じような話でも新鮮に聞いてくれるのではないかと思います。しかし学校保健委員会の開催が少ないと、時節に合わせた話ができないのです。

三谷 学校三師の方々と連携は学校保健を進める上で大変役立ちます。

今回の新型インフルエンザの流行期に、感染予防をテーマにした地域学校保健委員会（保育園、幼稚園、小学校の保護者等が出席）を開催しました。

地域の幼稚園、保育園、小学校兼任の学校医に情報提供や感染予防対策について講話をしていただき、校種を越えた地域の子どもの健康を守る感染予防学習ができました。

本校では、学校三師、PTA会長、校長、教頭、養護教諭、保健主事で構成した「新型インフルエンザ対策委員会」を設置しました。学校で策定した「新型インフルエンザ感染予防マニュアル」を委員会で協議していただきました。医学的な最新知識や行政からの通達など情報をいち早く取り入れて互いに共有し、「PDCA（計画、実施、評価、改善）」を確実に行うことによって感染予防に取り組みました。マニュアルには感染予防対策、感染時の対応、学級・学年・学校閉鎖時の連絡方法等を載せたほか、感染症について科学的理解を深める情報も盛り込み、保護者に概要を通知したことにより理解も深まり、混乱が軽減されたと思います。関係者がしっかり連携することで、いざというときにいかに役立つかということを実感した取組でした。学校保健委員会も同じような連携によってより活性化するのではないのでしょうか。



三谷博之 氏

保健主事の役割



瀧澤利行 氏

瀧澤 三谷先生は校長先生をされる以前には保健主事のお立場でもいらっしゃいましたので、そのお立場ならではのご苦勞を聞かせてください。

三谷 保健主事をしていたときには、健康教育を全校体制で進めることに力を注ぎまし

た。そのことでいえば全国的に保健主事の在任期間が短いことからマネジメント力をもった保健主事の資質を向上させることが大事だと思います。保健主事会の研修では、互いに実践を持ちより交流することを進めています。例えば「学校保健委員会の効果的な運営」や「課題を全校的な組織体制で取り組むために」などをテーマに実践的な研修を大切にしています。しかしやはり学校全体をまとめるのは学校長であり、課題解決型のリーダーシップが求められます。

日常的には、学校長が子どもたちの健康に絶えず気を配ることが大事です。子どもの健康状態を把握し、安全で充実した教育活動をおこなうためには、学校長が情報を把握し、教職員が共有するシステムの構築が必要です。つまり養護教諭、保健主事から「報告・連絡・相談」が的確になされることを基本としたいと思います。

瀧澤 三師の先生方は保健主事という職務をどうとらえていますか。忌憚なきご意見を伺いたいのですが。

田中 私は小学校2校を30年近く担当していますが、正直を申し上げて保健主事が誰なのかよくわかっておりません。年1回発行される学校要覧に載っているのは確認するのですが、私自身は委員会や検査などがあっても、養護教諭、学校長、副校長に対応していただくことがほとんどです。

赤井 保健主事の印象は極めて薄いというのが現状だと思います。窓口は養護教諭がほとんどで役割が目に見えていません。関係者が役割分担をするとともに共同作業をする場面を増やすことも必要です。例えば私は健康診断のときに担任に筆記をしてもらっていますが、こうすることによって担任にも子どもの健康状態を把握してもらい、学校保健活動にも参画してもらおうきっかけになればと考えています。

瀧澤 山口さん、保護者の立場からはいかがでしょう。

山口 いろいろな主事という役割があるのは知っていましたが、私の子どもたちの学校の場合は、たまたま6年生の担任の先生が保健主事でした。しかし、学校保健委員会などの活動の際でも、「担任の先生」としか見ていなくて、保健主事として活動されているという認識があまりありませんでした。

瀧澤 米元先生は兼任されていますが、現実には養護教諭と保健主事の仕事のバランスはどのようにとっていますか。

米元 平成7年に養護教諭が保健主事を兼任できることになって、今では本市では9割が兼任しています。現在勤務している学校は大規模校で養護教諭が二人いて、私が保健主事を兼任しています。しかし保健主事としてのマネジメントまではなかなかできていないというのが実感です。

瀧澤 兼任の利点は何でしょうか。

米元 個人差があると思います。私は、学校の教育課程をよくわかっている教諭が兼任したほうが、保健指導を授業に生かすなど、学校教育全体とのバランスを取りやすく、健康教育がいきなりやすいのではないかと考えています。特に新人の方などは、養護教諭の職務そのものがどんなものかよくわからないまま1年が過ぎるといふこともありますので、別にパートナーがいてくれたほうがいいですね。

瀧澤 医師の立場からはいかがですか。

雪下 保健主事のいない県にずっといるので何とも言えませんが、保健主事は成り立ちからいっても校長の補佐役であるべきで、養護教諭は実務の担当者、やはり分けるべきでしょうね。

三谷 私は、定期健康診断が終わった後にできる限り校長室に学校医をお招きして、子どもたちの健康状態や本校の課題について伺うようにしていますが、その時に保健主事を紹介するようにしています。学校保健や学校保健委員会を養護教諭と連携し、学校の中核となって学校保健を推進する先生だからです。組織活動の小さな一歩かも知れませんが。

赤井 保健主事は仕掛け屋です。誰もが興味を持つようなことを提案し、我々学校三師に専門的な意見を求めてくれるのが望ましいですね。養護教諭には別の役割があるので分けたほうがいいでしょう。また、学校保健委員会には地域からも多岐

にわたる立場の方に参加してもらい、情報発信の

場としても活用できる事を期待します。

学校保健委員会の将来

瀧澤 では、最後に学校保健委員会の活性化のためにどんな努力が必要か、お一人ずつお話しください。

三谷 子どもたちに、生涯を通じた健康を見据えた自己管理能力を育てるために、学校、家庭、地域が健康観を共有し、それぞれの教育機能を活かした連携した取組が大切です。学校保健委員会の活性化は、テーマに即した総合的な学習や保健学習を紹介したり、時には学校保健委員会前に学習参観などを取り入れることも効果的でした。また、歯垢染め出しのように保護者に体験していただくことにより取組が深まることもあります。子どもたちの健康問題の解決を基本におきながら、保護者のニーズも取り入れて適切に進めることが学校保健委員会の活性化につながると考えます。

赤井 今日大類小学校の事例を伺いましたが、高崎市は全国レベルでも高い評価を得ています。学校保健計画がしっかりしているので、校長が代わっても、担当が代わっても計画に従って遂行されるといったすばらしい伝統があります。学校保健委員会が活性化するためには保護者の参加も重要であり、学校三師の役割が保健管理だけでなく、教育に深く関わってきているとことへの理解を求めする必要があります。また、我々は非常勤の地方公務員として学校に赴いています。自らが襟を正すという意味からも執務状況の調査をし、これを学校保健委員会の活性化に繋げられればと考えています。



田中俊昭 氏

田中 環境衛生検査の結果、それによって浮上した課題などを発表する場としても、学校保健委員会は大切だと思います。私は検査日や講話に保護者が参加しやすいように、あえて授業参観日に併せるようにしています。そうした工夫も必要ではないかと思

います。学校保健委員会の活性化のた

めの書籍も出ていますので、活用するのもいいと思います。

山口 学校保健委員会に、たいへん多くの方々が関わっていると感じました。

学校保健委員会がしっかり成り立っている学校在籍していることはありがたいことだと思います。今以上にかかわれる保護者が増えることを期待します。せっかくのいい機会なのですから、地域の方々にも広がっていくとよいと思います。

米元 管理職の先生の意識の向上が大切だと思います。過去の実績が見えずに組織を一から立ち上げるのは大変です。教育委員会が主体となって、管理職を対象とした研修をしてほしいと思っています。

雪下 はじめに申し上げた通り、国、地方公共団体、学校の開設者に学校保健を推進する責務があると認識されることが活性化の第一歩です。私は、学校医活動の中で学校保健委員会が大事だと、その重要性をずっと言い続けてきました。

あらためて学校保健委員会の機能を再認識し、その活性化を祈りたいと思います。

- ① 組織間の情報交換と通達
- ② 学校保健安全計画への参画と助言
- ③ 学校保健の重要性の再認識
- ④ ヘルスプロモーションのための情報提供
- ⑤ 心の問題への学校医の協力
- ⑥ 各種健康管理区分の徹底（心、腎、糖尿、アレルギー）
- ⑦ 緊急時対策時の組織作り
- ⑧ 学校産業医（健康指導医）活動
- ⑨ 家庭、地域への保健情報の発信
- ⑩ 健康スポーツ医活動（学校行事、課外活動）

これらの機能の数々を常に念頭に置いてテーマを取り上げ、協議していくことが大切です。

瀧澤 ご出席の皆様、本日はどうもありがとうございました。学校保健委員会の活性化はできるだけ多く地域に発信することが第一歩といえるのではないのでしょうか。

（場所：財団法人日本学校保健会）

シリーズ ②

「健康教育をささえる」～学校保健の現場から～

全国学校保健主事会
会長 石井 一夫

1. はじめに

現在の児童生徒の健康課題は、多くの場合が近年の社会環境や生活様式等の急激な変化により、顕れるべくして顕れた現代病であるといわれています。喫煙、飲酒、薬物乱用、性の逸脱行為、アレルギー疾患、生活習慣病の兆候など、生活環境の変化により、児童生徒の心身にさまざまな健康上の問題が生じています。国の教育再生会議では、「いじめ」「自殺」など児童生徒の心の健康問題について議論されてはいましたが、議論の中心は「学力の低下」や「規範意識の欠如」の問題でした。現状では、健康問題に対する学校現場の声が届いていないように思われます。また、新型インフルエンザに対する正しい知識や防止策の啓発に努めていますが、感染の蔓延による大流行への一抹の不安と恐怖を改めて実感しているところです。

さて、学校保健において主要な職責を果たす者は学校に2人おり、1人は、医学的な分野や生徒の心身の健康問題について専門的に学んでこられた養護教諭。もう1人は、医学的な面や精神衛生、看護学等保健関係については全くの素人である保健主事です。しかし、保健主事はそれぞれの学校の教育全体像を熟知しているため、学校の教育課程や今日的な課題を把握しています。そのために、学校保健活動をどのように取り組んでいくかをデザインする、マネジメント能力を持つ必要があります。学校の状況や小規模な課程など、養護教諭が保健主事を兼務する場合がありますが、いずれにしても保健主事と養護教諭は学校保健を担う組織として、学校保健委員会の企画運営のキーパーソンです。保健主事の役割を明確にし、学校保健委員会の活性化が必要とされています。

2. 本会の組織及び活動

本会は(財)日本学校保健会の関連団体として、全国都道府県及び政令指定都市の学校保健主事(主任)会をもって組織されています。学校保健安全に関する指導のうえで、学校教育全体の調整役

を果たすと共に、心の健康教育問題や学校環境の衛生管理など健康に関する現代的課題に対する中心的存在となる保健主事の全国組織として活動しています。

本会は結成以来、52年あまりを経過する中でその課せられる役割を果たしつつも、該当する都道府県及び政令指定都市(63)の中で24の団体が未加入の現状があり、組織拡大を図る必要があります。そこで、平成19年11月香川県高松市で行われた全国学校保健研究大会で本会の組織と活動内容を説明し、さらに、平成20年1月に未加入の団体に加入依頼を文書でお願いしました。多くの団体より問い合わせがあり、加入に向けて準備を進めていただいています。なかには、学校保健主事会が組織されていない地域もあり、こういった地域は保健主事が孤軍奮闘となりやすいので、組織を結成し地域の健康問題に各都道府県・各政令指定都市全体で取り組んでいただけたらと思います。

保健主事が学校保健活動の要として現在以上に必要とされています。しかし、保健主事の在任年数は単年である場合が多く、適任者が継続的に活動できるように、校長指導のもとで、養護教諭と連携を保って進めていくことを当面の課題としています。

中教審の答申(スポーツ・青少年分科会)の中で、「保健主事に適切な教員を配置する」とあり、非常に期待しているところです。

3. 第52回

全国学校保健主事研究協議会千葉大会

学校保健活動に携わる多くの方々からのご支援、ご協力をいただき、第52回全国学校保健主事研究協議会が千葉県千葉市で平成21年8月6日・7日の2日間の日程で、全国各地より保健主事、その他学校保健関係者が300人集まり開催されました。

大会に先立ち、全国各地より34名の理事・評議員の先生方の出席をいただき、理事・評議会を開

催しました。新役員の紹介、20年度決算報告、事業報告、21年度予算、会務計画が承認され、第52回千葉大会の紹介、第53回大会の開催地について話し合いをしました。引き続き情報交換会が行われ、各府県市の抱えている諸問題等について情報交換・意見交換を行いました。「保健主事の任期について」や「学校保健委員会の活性化について」話し合いがもたれました。

本大会は、第52回の大会を迎えることとなりました。文部科学省、日本学校保健会をはじめ各方面より支えられ節目を迎えることとなり、感謝とお礼を申し上げます。

今回記念大会ということで特別表彰を行いました。長年学校保健主事にたずさわった2名の先生方を表彰しました。

特別表彰受賞者

古塚 幸次 (近畿 兵庫県)
大竹 始 (東北 福島県)

受賞された各先生方に改めて敬意を表します。

引き続いて、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課教科調査官 森 良一先生による基調講話「学校保健の現状と保健主事の役割」と題して講話が行われました。森先生からは、保健主事としての役割や、学校保健における評価の重要性を強調された内容でした。

元新体操オリンピック選手 山崎浩子氏 による記念講演が行われました。演題は「折れない心」で、今の子どもたちへの強い心の大切さを伝えてほしいとのことでした。

アトラクションとして、千葉女子高等学校プラスバ

ンド部による軽快な演奏を聞くことができ、参加者全員の1日の疲れを癒してもらいました。

2日目は、3人の先生より研究発表をいただき、課題別研究協議を行いました。

「地域・保護者と連携した、いのちの授業」

千葉県鎌ヶ谷市立東部小学校

坂入 実先生
須田 良子先生

指導助言者 和歌山県高城小学校

直川 豊先生

「自主的な健康生活ができる生徒の育成」

栃木県真岡西中学校

高松 伸子先生

指導助言者 千葉敬愛短期大学

林 眞示先生

「心の健康の保持増進をめざす

教育活動に関すること」

秋田県雄物川高等学校

柴田 明子先生

指導助言者 文部科学省スポーツ・青年局

森 良一先生

各課題別研究協議では、活発な意見交換が行われ、今後の学校保健活動の課題解決に向けて大きな成果をあげることができました。

4. 研究協議会開催予定

来年度の第53回大会の開催地は未定です。第54回大会は長野県が開催予定です。

助成事業の募集情報！

エイズ予防財団では、来年度の「ティーンエージャー(10代)を対象としたHIV/AIDS予防啓発活動の助成事業(通称、ティーンエージャー支援事業)」募集を平成22年3月1日に開始予定です。中・高校生を中心とするエイズ予防啓発活動について、その促進を一緒に考え、支援しています。

◆**募集対象**：中学生・高校生を中心とする10代を対象にしたエイズ予防啓発活動で、以下の2要件のいずれかを満たすもの。

- ①ティーンエージャー自身が参画する活動
- ②ティーンエージャーを指導・支援する人たちによる活動

◆**助成金額**：1団体上限100万円

◆**応募資格**：法人格を有する団体、および任意団体(※個人は対象としない)

◆**応募締切**：平成22年3月31日(水)消印有効

◆**その他**：詳細は、ホームページをご覧ください。今年度の申請状況や助成団体の活動紹介も掲載しています。<http://www.jfap.or.jp/news/jnj/>

*なお、本事業は、ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会からの寄附をもとに実施しています。

【お問い合わせ先】

エイズ予防財団 TEL：03-5259-1811 FAX：03-5259-1812 担当：矢永



助成団体による高校でのHIV予防授業の様子



当ホームページのトップページ

第59回全国学校保健研究大会 — 広島県広島市 —

生涯を通じて、心豊かにたくましく 生きる力をはぐくむ健康教育の推進 — 自ら健やかな心と体をはぐくむ子どもの育成 —

全国各地から約1,600名の学校保健・学校安全関係者をお迎えして、第59回全国学校保健研究大会が11月10日(火)11日(水)の両日、広島県広島市において盛大に開催されました。

大会1日目は、広島国際会議場において、開会式に引き続き文部科学大臣表彰「学校保健及び学校安全表彰」並びに「学校安全ボランティア活動奨励賞」の表彰式が行われました。会場からは、



学校保健・学校安全の充実・発展に多大なる功績を残された217名(校・団体)の皆様、尊敬と祝福の大きな拍手が送られました。

表彰式に続いて、「学校におけるメンタルヘルス」と題して、京都大学大学院教授の十一元三氏の講演が行われました。①メンタルヘルスとは、②学校保健の動向と現状、③精神症状の基礎知識、④広汎性発達障害について、⑤これからのケア、という5項目による構成で、具体的な調査研究データや豊富な臨床経験に基づく分かりやすいお話をいただきました。平成21年4月に学校保健安

全法が施行され、心の健康問題への組織的で適切な対応が求められる中で、メンタルヘルスの基礎知識、児童生徒の抱える心の問題を正確に見極める手法、適切な対応の仕方や支援方法等について、多くの示唆を与えていただきました。

大会2日目は、広島国際会議場及びアステールプラザを会場として、10課題に分かれて研究協議会が行われました。各会場では、全国各地の先進的で質の高い実践に裏づけされた3つの研究発表を基に、参加者による熱心な協議が行われました。

また、講師・指導助言者からは、直面する健康課題に対する具体的な対応策や今後の方向性について専門性に富んだ講義等があり、大変充実した協議会となりました。

本大会では、学校・家庭・関係機関による組織的な取り組みにおける課題が明らかにされるとともに、実践的で具体的な指導方法や対応策が数多く示されるなど、多くの成果を生み出すことができ、今後の学校保健・学校安全の充実・発展に向けた有意義な大会となりました。



優良出版物を特価にて販売します!! 限定販売

- ①平成18年度児童生徒の健康サーベイランス事業報告書
- ②喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する参考資料小学校編
- ③ゆたかな体と心を育むための望ましい生活習慣づくり 改訂版
- ④3・4年生から始める小学校保健学習のプラン
- ⑤実践力を育てる 中学校保健学習のプラン
- ⑥小学校保健学習の指導と評価
- ⑦高等学校保健学習の指導と評価

値段：一律500円

(送料はご負担いただきます。)

注文方法は本会HP「図書・出版物販売」をご覧ください。

発行/財団法人日本学校保健会

報告 ブロック大会 (平成21年10月～12月までに実施した大会)

第58回北海道学校保健研究大会胆振(登別)大会
**「北の大地を 心豊かにたくましく
 生きぬく子ども育成を求めて」**
 ～人が輝き まちがとぎめく ふれあい交流都市登別市で
 健康でたくましく生きる 子らを求めて～

平成21年10月18日(日)、登別市において、第58回北海道学校保健研究大会が370余名の参加を得て開催された。

午前9時40分から登別市民会館に於いて、開会式が執り行われた。北海道教育委員会教育長、(財)日本学校保健会会長(代理 雪下國雄専務理事)、(財)北海道学校保健会会長が主催者として挨拶、引き続き来賓として、胆振支庁長、登別市長が祝辞を述べた。

学校保健功労者表彰では、永年にわたる学校保健や学校安全の充実にご尽力された功績を称え、学校医31名、学校歯科医36名、学校薬剤師14名、教職員9名、

団体1の方々を北海道学校保健会が表彰した。

次期開催地の釧路市教育委員会教育指導参事より大会開催に向けての準備体制の整備を進めているとの挨拶があり、開会式を終了した。

続いて、「健康教材と〈からだと健康の小宇宙を〉を旅して」と題して大分大学教育福祉科学部教授 住田実氏から基調講演があった。住田氏は、子どもたちの瞳を輝かせる保健指導の工夫について、NHK映像教材の製作現場での経験を踏まえてわかりやすくお話をされ、参加者に多くの示唆を与えていただいた。

午後からは、4つの部会にわかれ、研究協議の視点に基づいた提言をもとに、教職員、PTA会員、医療関係者、学生を交えて協議が進められた。



第30回東海ブロック学校保健研究大会
(第57回愛知県学校保健研究大会)
**「生涯にわたり主体的に健康づくりに
 取り組む子どもの育成」**



平成21年10月28日(水)名古屋市において第30回東海ブロック学校保健研究大会(第57回愛知県学校保健研究大会)を、400名を超える参加のもと盛大に開催することができました。

研究発表では、愛知県健康推進学校表彰校の取組や「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」で、学校・家庭・地域の専門家が連携し、けがやスポーツ傷害の防止に取り組んだ実践が発表されました。

記念講演は、トヨタ記念病院副院長の高松浩一先生から「子どもたちをスポーツ傷害から守ろう」と題して、スポーツと健康とのかかわりからけがやスポーツ傷害について学び、その原因や具体的な予防方法を教えていただきました。

参加者からは「研究発表、記念講演ともに大変参考になり、具体的な取組や対応等がよくわかった」等の感想が聞かれ、関係者の皆様のご協力により有意義な大会となりました。

期日：平成21年10月18日(日) 午前9時40分～午後3時30分

会場：登別市民会館(全体会・部会)・
 総合福祉センターしんた21(部会)

主催：北海道教育委員会 (財)日本学校保健会
 (財)北海道学校保健会 登別市教育委員会

後援：(社)北海道医師会 (社)北海道歯科医師会
 (社)北海道薬剤師会 他17団体

期日：平成21年10月28日(水)

会場：愛知県歯科医師会館(名古屋市)

主催：愛知県教育委員会 愛知県学校保健会
 東海ブロック学校保健会連絡協議会

共催：(財)日本学校保健会

主管：(社)愛知県医師会 (社)愛知県歯科医師会
 (社)愛知県薬剤師会 朝日新聞社

学校における糖尿病の生活指導

日本大学名誉教授（財団法人 東京都予防医学協会）
北川 照男

1. はじめに

大人の糖尿病は生活習慣病の2型糖尿病が殆どであるが、小児は自己免疫やウイルス感染等が原因でインスリン分泌能が低下して発病する1型糖尿病が多い。しかし、最近では子どもの生活習慣も

変化して2型糖尿病が増えて、現在は1型と2型の患者がほぼ同数と思われる。従って、学校では両者の特徴をよく理解してそれぞれに適切に対応して欲しい。

2. 児童生徒の糖尿病の症状と診断

症状の特徴

子どもの1型糖尿病は、急速に発病することが多い。やせ型の子どもに多く、喉が渇き、よく水を飲む。排尿回数が多くて、よくトイレに行くなどの糖尿病の症状がみられる。治療が遅れると昏睡に陥ることがあるので注意が必要である。

これに対して、小児の2型糖尿病の約8割に肥満がみられ、発病がゆっくりで糖尿病と気付かずにいる子どもが多く、学校検尿で発見されることが屢々である。

診 断

前に述べた糖尿病の症状がみられると共に、空腹時の血糖値が126mg/dL以上、あるいは随時の血糖値が200mg/dL以上の場合は、糖尿病と思われる。再検査で血糖値が初回と同様に高く、HbA1C

が6.5%以上、尿アセトンが陽性で、血清GAD抗体価が高ければ、1型糖尿病と診断される。

糖尿病の症状が殆どなく、学校検尿で尿糖が陽性の場合は糖負荷テストを行い、空腹時血糖が126mg/dL以上、そして/または糖負荷後2時間の血糖値が200mg/dL以上であれば糖尿病の可能性が高く、同時に測定した血清インスリン値が低い時は1型糖尿病、それが正常か高い時は2型糖尿病の可能性が高い。また、同時に測定した血清GAD抗体価が高い場合は、緩徐な経過をとる1型糖尿病と診断される。

しかし、空腹時血糖値が110mg/dL未満、そして、負荷後2時間の血糖値が140mg/dL未満であれば正常である。尿糖が陽性で糖負荷試験が正常な場合は腎性糖尿であり、生活指導の必要はない。

3. 学校における糖尿病の生活指導の実際

児童生徒が糖尿病であることが判った時は、主治医と保護者に糖尿病患児の診断名（病型）と治療内容、緊急連絡先等の連絡表（表1-1）、および

学校生活や学校行事での注意に関する連絡表（表1-2）に、必要な事項を記載して学校に連絡するように指示する。

表1. 糖尿病患児の病型・治療内容・緊急連絡先、並びに学校生活・学校行事における注意事項等に関する連絡表

学校名 _____ 年 _____ 組 _____	記載日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
氏 名 _____ 男・女 _____	医療機関 _____
生年月日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	医師名 _____ 印 _____
保護者 _____	電話番号 _____

糖尿病患者（要管理者）の病型・現在の治療内容・緊急連絡先の連絡表（表1-1）	
診断名	① 1型（インスリン依存型）糖尿病 ② 2型（インスリン非依存型）糖尿病
現在の治療	1. インスリン注射：1日 _____ 回 昼食前の学校での注射（有・無） 学校での自己血糖測定（有・無） 2. 経口血糖降下薬：薬品名（ _____ ） 学校での服用（有・無） 3. 食事・運動療法のみ 4. 受診回数 _____ 回/月
緊急連絡先	保護者 氏名 _____ 自宅 TEL _____ 勤務先（会社名） _____ TEL _____ 主治医 氏名 _____ 施設名 _____ TEL _____

表1-1、表1-2の該当する項目に○をつけ、空欄について記載する

学校生活や学校行事での注意に関する連絡表（表1-2）—基本的には健常児と同じ学校生活が可能である—	
1. 食事に関する注意	
学校給食 _____	①制限なし ②お代わりなし ③その他（ _____ ）
宿泊学習の食事 _____	①制限なし ②お代わりなし ③その他（ _____ ）
補食 {	①定時に（ _____ 時 _____ 食品名 _____ ）
	②必要なときのみ（ _____ 時 _____ 食品名 _____ ）
	③必要なし _____
2. 日常の体育活動・運動部活動について	
1 型糖尿病：強い運動を長時間行っても補食を適切にとって低血糖を予防できる _____ 指導区分C	補食がうまくとれずしばしば低血糖をおこす _____ 指導区分DかCかB
2 型糖尿病：運動療法と食事療法で血糖がうまくコントロールされている _____ 指導区分E	経口血糖降下薬を使用して血糖をコントロールしている例で _____ 運動後に低血糖をおこす危険のある症例 _____ 指導区分DかC
「日本学校保健会 学校生活管理指導表」を参照のこと	
3. 学校行事（宿泊学習、修学旅行など）への参加およびその身体活動	
「日本学校保健会 学校生活管理指導表」を参照のこと	
4. その他の注意事項 _____	

表2. 低血糖が起こったときの対応* (血糖値と症状との関係には個人差があるので注意が必要)

程度	血糖値	症状	対応
軽度	80-60mg/dl	空腹感、あくび、いらいら、嘔気、手がふるえる	グルコース錠2個 (40Kcal=0.5単位分。入手できなければステックシュガー 10g)
中等度	60-30mg/dl	黙り込む、冷や汗、眠くなる、異常行動、腹痛、顔面蒼白	グルコース錠2個 (あるいはステックシュガー 10g) さらに多糖類を40Kcal~80Kcal (0.5~1単位分) 食べる。 (ビスケットやクッキーなら2~3枚、食パンなら1/2枚、小さいおにぎり1つなど) 上記補食を食べた後、保健室で休養させ経過観察する。
高度	30mg/dl以下	意識障害、昏睡、けいれんなど	保護者・主治医に緊急連絡し、救急車にて主治医または近くの病院に転送する。救急車を待つ間、砂糖などを口内の頬粘膜になすりつける。

* 軽度であっても低血糖が起こったときには、保護者・主治医に連絡することが望ましい。

新学校検尿のすべて(136頁)の表5-7を一部改変

1型糖尿病の生活指導

インスリンの分泌能が低下している1型糖尿病は、これを補うために自分で1日に何回かインスリン注射を行いつつ、エネルギーと3栄養素の1日の必要量を満たす食事を朝、昼、夕食、およびスナック時に適切に分割して摂取し、他の学童と同じ学校生活を行い、血糖値を80-180mg/dlの範囲内に維持することが必要であるが、患児は主治医からこのような血糖自己管理できるように指導を受けている。従って、これができる1型糖尿病の子は、学校給食も普通に与え、学校でのすべての運動に参加させる(指導区分E)。しかし、激しい運動をする時は、予め30分間の運動で消費されるエネルギーを補う補食をとる。この補食のとり方も、血糖自己測定も主治医が指導しており、学校での生活指導区分がEの場合は、患者自身にまかせてよい。しかし、血糖自己管理にやや不安がある子どもは、その程度に応じて指導区分をDまたはC、まれにBとする。もしも、運動後に低血糖を生じた時は、表2を参考にして対応する。

他方、患児の中には他の子ども達に遠慮して、インスリン注射や補食の摂取がしにくいものもある。従って、学校側は保健室でそれができるよう

に配慮すると共に、宿泊行事の時は保健室に代わる場所を用意して欲しい。

患児がかぜなどの感染症で発熱した時は、かえって高血糖になり、食欲低下、嘔吐を生ずる。この時、食事がとれなくてもインスリン自己注射を中断せずに行い、少量ずつスポーツ飲料を与えて主治医に連絡し対応する。

2型糖尿病の生活指導

この病型の小児も、学校給食は他の子と同じように食べる。しかし、家庭での食事は、肥満度に応じてエネルギー量のある程度少なくする。また保護者には家庭で活発に運動させるように指示することが望ましい。

食事・運動療法を行えば、学校検尿で発見された初期の2型糖尿病の血糖コントロールは改善することが多い。しかし、長期にわたってその治療を続けることが大切である。食事療法と運動のみで血糖コントロールがつかない時は、経口血糖降下薬を投与する。これによって血糖はコントロールできるが、激しい運動をすると低血糖をおこすことがあるので注意が必要である。

4. おわりに

1型と2型糖尿病の児童生徒は、主治医により普通の子と同じ学校生活が行えるように教育されて

いる。従って、学校は患児が糖尿病を自己管理し易いように協力して欲しい。

専門医から得る
正しい知識と情報

小・中学校保護者向けに学校保健講座を開催

東京都豊島区立西巣鴨中学校

豊島区立西巣鴨中学校(高橋基之校長)では11月21日(土)、校区内の巣鴨小学校と朋有小学校の保護者も招き、学校保健講座を開催しました。主催は同校のPTA。昨年、学校保健委員会でぜん息を取り上げたことがきっかけで、ほかの多くの保護者にもアレルギーの知識を広げたいと企画したものです。

当日は、「正しく知ろう! アレルギーとインフルエンザ」をテーマに、東京慈恵会医科大学小児科学講座の勝沼俊雄准教授が主にぜん息と新型インフルエンザについての講演を行いました。

講演では、「ぜん息は慢性疾患」「発作を起こさないように正常に近づけるよう治療する」「重症度によって治療が違う」「軽症でも放っていても治らない」「患者がどこの病院で診てもらっても同じような治療が受けられるようにガイドラインがある」「薬治療の軽減化をするには環境衛生の改善が大切」等の話がありました。

また、ぜん息と新型インフルエンザとの関連では、「従来の季節性インフルエンザより肺炎になりやすいので注意が必要」「重症度に関係なく軽症患者でも発作が起きる」等のデータも紹介され、



講演終了後には保護者からカビや遺伝の影響など活発な質問がありました。

子どものアレルギー疾患では子どもが通常の生活を送れるようになることは保護者の精神的・肉体的負担を軽くし、家庭全体にもよい影響を及ぼします。それには適切な治療が重要だということです。

家庭内での環境衛生の改善 (例)

◆家族の禁煙

- ・ベランダ等屋外の喫煙でも受動喫煙の影響はある

◆ダニ対策

- ・寝室やリビングの清掃
- ・寝具のダニ除去
ノズルつき掃除機で20往復が目安
(週に1回頑張る)

ラジオNIKKEIスタジオセミナー

「学校生徒に対する感染症対策講座」

(無料)

50名様

参加者
受付中!

小中高生に対する感染症対策の最新情報を学校保健師さんにお伝えします。

講師: 国立三重病院臨床研究部国際保健医療研究室長/小児科医 中野貴司先生ほか

■開催日時 1月28日(木) 17:00~20:00

■開催場所 ラジオNIKKEI第2スタジオ(東京都港区赤坂1-9-15 自転車会館6階)

■協賛 サラヤ株式会社

■応募方法 住所・氏名・勤務先・電話番号を明記の上、下記「セミナー係」までお申込みください。

FAXの場合は03-3582-1944、メールの場合は<http://www.radionikkei.jp/news/event/entry-176636.html>

*締め切りは1月18日(月)正午。抽選で50名様に入场券とご案内をお送りします。

虎ノ門 (101)

今学校は!

新年を迎え、学校では平成21年度の締めくくりの時期となり、気分も新たに学習活動を開始しました。教科書の勉強も残り少なくなり、学校行事も（高校は入学試験もある）卒業式だけとなりました。教職員は学校評価という教育活動の評価をして、地域や保護者に公表して、次の年度の教育目標の設定をします。その中で健康課題も新しく取り入れたり継続発展した課題にしたりして、健やかに育つ子ども像を理想にします。加えて、新しい教育課程の編成作業があります。理科や数学（算数）・総則等は先行実施しますが、平成23年小学校・平成24年中学校・平成25年高校で改訂学習指導要領に則ったその学校の独自の教育課程を編成・全面实施するのです。教職員は子どもたちの発達状況に応じた教材配列を考

え、地域や保護者の教育要求を押しはかり、校務分掌上の立場から、学年の担任の立場から、教科の授業の担当者の立場から、討論・検討し、決定します。

3月には卒業予定の児童生徒たちは、慣れ親しんだ校舎や教室、先生方や後輩と離れる寂しさと、新しい上級学校の生活や実社会での新しい生活に対する期待と不安と入り混じった気持ちですごします。教職員の間では人事異動の内示があり、次年度の校務分掌（校内の先生方の役割分担）もほぼ決まります。8月に誕生した新政権はスタートしたばかりの教員免許10年更新制を中止することを発表しました。教育予算の削減も仕方がないとしても、また何か新しい仕組みや制度が入ってくるのか不安な気持ちでいます。いま精神面でお休みする教職員はたくさんいます。元気で・たくましく・しなやかで・懐の大きな先生が増えてほしいものです。

(編集委員 鈴木 守雄)

編 集 後 記

昨年は新型インフルエンザに翻弄された一年でした。昨今、子ども達の新型インフルエンザ対策を含め、児童生徒の「正しい手洗い」の指導が話題になっています。今年は寅年です。虎が食べ物を洗って食べる話は聞いたことがありませんが、よく猿が食べ物を洗って食べることや露天風呂に入る事は話題になります。どうやら動物社会では全てが手洗いをすると決まっている訳ではないようです。

過日、諸外国で衛生指導をしている研究者の方にお話を伺った際に、「私が赴任して最初に取り組む指

導は手洗いの習慣化です。」とのことでした。手洗いの習慣が無い国では、「手洗い」自体を習慣化させるためには国を挙げての相当な努力が必要であるというお話を伺いました。我が国では当たり前とってきたことが実は当たり前でなく、多くの「先人の努力」で習慣化していることに気づかされました。「正しい手洗いの方法」など児童向けの講習会の必要性を再認識しています。

新年を迎え、心新たに取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。(編集委員長 雪下 國雄)

告知 平成22年度「学校保健用品・図書等推薦」追加

No.	品 目	摘 要	会 社 名
43	新ぎもん・しつもん かぜ・インフルエンザの予防	夏かぜから新型インフルエンザまでを網羅。 保健指導で視聴し、予防の実践に結びつける。	株式会社NHKエンタープライズ

学校保健の最新情報を満載

平成21年度版 学校保健の動向

特集 学校保健安全法 施行規則の解説 学校でのパンデミック対策

- 第1章 健康管理の動向
- 第2章 学校環境衛生の動向
- 第3章 健康教育の動向
- 第4章 学校保健に関する組織・団体の最近の動向

養護教諭、大学関係者、養護教諭養成過程の学生のテキストとしても



(財)日本学校保健会 / 発行
3,000円(税送料込)

食べたら、楽しく歯をみがこう！

日本学校保健会推薦



6～12才までの
生え替わり用
©Disney

クリニカ Kids ハブラシ




Otsuka

のどをうるおすだけの飲料ではありません。

(財)日本学校保健会推薦

抽選で20校様へ
ポカリスエット200ml
ペットボトル1ケースを
無料進呈します。

学校名、住所、TEL、ご担当者名、ポカリスエットについてのご意見や活用方法をご記入の上、下記の『ポカリスエットプレゼント係』宛てまでハガキにてご応募ください。
※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。

【応募締切】平成22年2月末日まで
【お申込み先】〒102-0075
東京都千代田区三番町24番地
林三番町ビル4F
健康と料理社「ポカリスエットプレゼント係」



財団法人日本学校保健会推薦

CPR・AED学習キット —ミニアン—

MiniAnne

Laerdal®
helping save lives

あなたにしかできないことがあります。

www.CPR-AED.jp 検 索

◎学校法人教育委員会専用注文書はこちらからダウンロードできます。




Just Evidence Shoes

現在、多くの子ども達が足に合わない靴を履き、足にトラブルを抱えている事がわかりました。JESは、足計測データを分析し、少しでも多くの子どもにフィットする「靴型」の設計をはじめ、幅の選べる学校シューズなどの研究を進め、児童生徒の「足を育むJESシューズ」の開発と、「足元からの健康教育“足育”」活動を推進しています。



Wide 中学生の約 15%
Middle 中学生の約 71%
Narrow 中学生の約 13%

JES 足と地球の健康を考えよう
日本教育シューズ協議会
Just Evidence Shoes 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-3-4 TEL.03-3862-8684 FAX.03-3862-8632